

発行 車体発24第129号
2024年5月27日

2024年度 車体業界の見通し

昨年度を振り返りますと、日本全体に活気が戻り、ようやくコロナ禍から通常の社会生活や経済活動を取り戻すことを実感できた1年であったかと思えます。

当会を取り巻く市場環境も回復の傾向を示し、当会特有の非量産車は14万9千台、前年度比109%と少し明るさが見えてきた1年となりました。

しかしながら、世界情勢が不安定さを増す中、資源価格・物価の高騰に加え、足もとの人手不足や人件費上昇など、依然として取り巻く環境は厳しく、引続き予断を許さない状況です。

この様な中、当会では、2023年度は現地現物、対面での活動が本格的に再開し、会員各社の皆様がそれぞれ持つ課題の共有や意見交換をすることで相互の理解や連携が深まったと考えております。

また、事務局においても主体的にガバナンス強化や各種改善に取り組むことで会の基盤固めが進んだ1年だったと考えております。

2024年度も「働くクルマ」を通じて社会を支える工業会として、引続き自動車5団体で連携を取りながら、従来活動を着実に推進すると同時に、時代に応じた取組みも推進していく所存です。

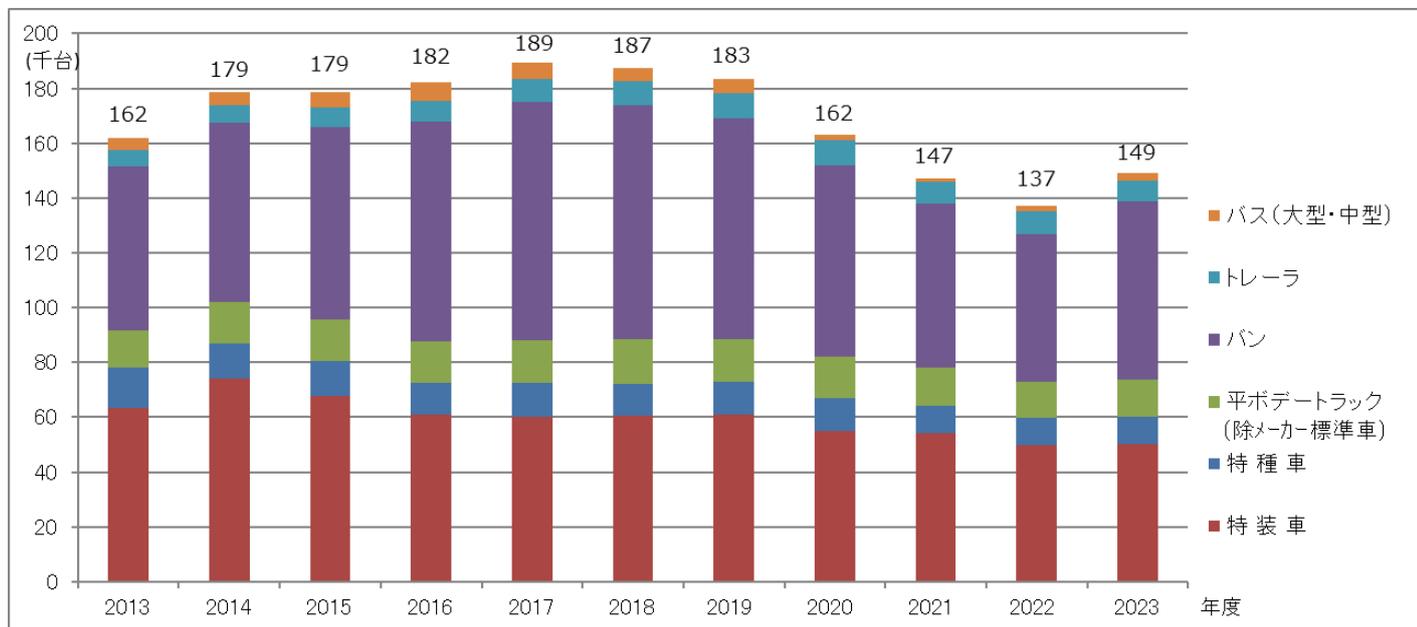
主な取り組み項目としては、以下6つを考えております。

- ・カーボンニュートラルへの対応
- ・安全対応活動の推進
- ・環境対応自主取組みの推進
- ・中小企業支援活動の推進
- ・活性化活動の継続推進
- ・土台となるガバナンス強化

今後も会員の皆様にとって、入ってよかったと思ってもらえる車工会を目指し、会員の皆様に寄り添いながら活動を更に充実させていく所存です。引き続きご支援、ご協力をお願いします。

(5月24日 日本自動車車体工業会通常総会での増井会長挨拶より)

<図1 当会特有の車体生産台数実績>



	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
特装車 ※1	30,609	31,725	39,175	51,909	63,387	74,058	67,722	60,816	60,065	60,561	60,790	55,128	53,708	49,882	50,263
特種車 ※2	16,461	9,299	12,577	13,285	14,683	12,664	12,845	11,632	12,438	11,406	12,085	11,805	9,959	10,071	9,786
平ボデートラック(除メーカー標準車)	5,618	7,317	9,734	12,044	13,653	15,318	15,232	15,050	15,435	16,679	15,563	14,761	14,077	13,004	13,580
バン	39,705	48,776	48,438	56,154	59,637	65,576	70,130	80,248	87,084	85,266	80,484	69,878	59,730	53,764	65,281
トレーラ	3,545	5,160	6,207	5,575	6,208	6,394	7,197	7,680	8,487	8,732	9,437	8,675	8,178	8,383	7,285
バス(大型・中型)	4,491	3,958	3,489	3,950	4,222	4,582	5,505	6,865	5,930	4,825	4,890	1,897	1,413	1,864	2,926
計	100,429	106,235	119,620	142,917	161,790	178,592	178,631	182,291	189,439	187,469	183,249	162,144	147,065	136,968	149,121

※1 特装車：ダンプ車、トラックミキサ車、塵芥車 等

※2 特種車：車いす移動車、警察車、医療防疫車 等

詳細については、当会ホームページを参照願います。

(本件の問合せ先) 日本自動車車体工業会 事務局 小森

一般社団法人 日本自動車車体工業会 〒105-0012 東京都港区芝大門 1 丁目 1 番 30 号 日本自動車会館 15 階

TEL (03)3578-1681 <http://www.jabia.or.jp/>